
令和5年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

令和5年度決算のポイント

利益の状況

- ◇ 経常利益は908億円で、前年度に比べ、109億円の減少
当期純利益は362億円で、前年度に比べ、2億円の増加

資産等の状況

- ◇ 資産総額は貸付金等24兆1,641億円で、前年度末に比べ、3,922億円の減少
負債総額は債券等23兆7,382億円で、前年度末に比べ、4,241億円の減少
純資産総額は利益剰余金等4,258億円で、前年度末に比べ、319億円の増加

財務基盤の状況

- ◇ 地方公共団体健全化基金は9,264億円で、前年度末に比べ、26億円の増加
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度末と同額
公庫債権金利変動準備金は7,086億円で、前年度末に比べ、70億円の増加

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 令和5年度の**経常利益は908億円**で、前年度に比べ、109億円の減少(▲10.7%)。貸付金利息が減少したこと等が要因
- ◇ **当期純利益は362億円**で、前年度に比べ、2億円の増加(+0.6%)。一般勘定の当期純利益が増加したことが要因

科 目	R5決算(A)	R4決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,091億円	2,179億円	▲88億円
貸 付 金 利 息	1,895億円	2,001億円	▲106億円
そ の 他	195億円	178億円	17億円
経 常 費 用	1,182億円	1,162億円	20億円
債 券 利 息	1,098億円	1,088億円	10億円
そ の 他	83億円	74億円	9億円
経 常 利 益	908億円	1,017億円	▲109億円
特 別 利 益	525億円	531億円	▲6億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	500億円	500億円	—
利差補てん積立金取崩額	25億円	30億円	▲5億円
固 定 資 産 処 分 益	—	1億円	▲1億円
特 別 損 失	1,070億円	1,188億円	▲118億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	570億円	688億円	▲118億円
国 庫 納 付 金	500億円	500億円	—
当 期 純 利 益	362億円	360億円	2億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 令和5年度の**経常利益は362億円**で、前年度に比べ、3億円の増加(+1.0%)。貸付金利息の増加額が債券利息の増加額を下回ったものの、健全化基金受入額等が増加したことが要因
- ◇ **当期純利益は362億円**で、前年度に比べ、2億円の増加(+0.6%)

科 目	R5決算(A)	R4決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,334億円	1,257億円	77億円
貸付金利息	1,136億円	1,076億円	59億円
金利スワップ受入利息	21億円	10億円	11億円
健全化基金受入額	169億円	164億円	5億円
その他の	7億円	6億円	0億円
経 常 費 用	971億円	898億円	73億円
債券利息	851億円	782億円	68億円
借入金利息	10億円	7億円	2億円
その他の業務費用	27億円	24億円	2億円
営業経費	43億円	38億円	4億円
基金管理勘定繰出金	37億円	42億円	▲4億円
その他の	3億円	2億円	0億円
経 常 利 益	362億円	359億円	3億円
特 別 利 益	—	1億円	▲1億円
固定資産処分益	—	1億円	▲1億円
特 別 損 失	—	—	—
当 期 純 利 益	362億円	360億円	2億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 令和5年度の**経常利益は545億円**で、前年度に比べ、112億円の減少(▲17.1%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、令和5年度の当期純利益はゼロ

科 目	R5決算(A)	R4決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	796億円	967億円	▲170億円
貸 付 金 利 息	758億円	924億円	▲165億円
基 金 一 般 勘 定 繰 入 金	37億円	42億円	▲4億円
そ の 他	0億円	0億円	0億円
経 常 費 用	251億円	309億円	▲58億円
債 券 利 息	247億円	305億円	▲57億円
そ の 他	3億円	3億円	▲0億円
経 常 利 益	545億円	658億円	▲112億円
特 別 利 益	525億円	530億円	▲5億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	500億円	500億円	—
利差補てん積立金取崩額	25億円	30億円	▲5億円
特 別 損 失	1,070億円	1,188億円	▲118億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	570億円	688億円	▲118億円
国 庫 納 付 金	500億円	500億円	—
当 期 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

◇ 令和5年度末現在の資産総額は24兆1,641億円で、前年度末に比べ、3,922億円の減少(▲1.6%)。貸付金が2,261億円減少したこと等が要因

科 目	令和5年度末現在(A) (R6.3.31)	令和4年度末現在(B) (R5.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆740億円	23兆3,002億円	▲2,261億円
有 価 証 券	2,045億円	7,470億円	▲5,425億円
現 金 預 け 金	8,736億円	4,973億円	3,763億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	—	10億円	▲10億円
そ の 他 資 産	55億円	57億円	▲2億円
有 形 固 定 資 産	29億円	27億円	1億円
無 形 固 定 資 産	34億円	22億円	12億円
合 計	24兆1,641億円	24兆5,563億円	▲3,922億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和5年度末現在の一般勘定における資産総額は20兆7,275億円で、前年度末に比べ、3,205億円の増加(+1.6%)
- ◇ 令和5年度末現在の管理勘定における資産総額は3兆8,727億円で、前年度末に比べ、8,778億円の減少(▲18.5%)

	科 目	令和5年度末現在(A) (R6.3.31)	令和4年度末現在(B) (R5.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	19兆6,393億円	19兆1,532億円	4,861億円
	有 価 証 券	2,045億円	7,470億円	▲5,425億円
	現 金 預 け 金	8,736億円	4,973億円	3,763億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	—	10億円	▲10億円
	そ の 他 資 産	35億円	33億円	2億円
	有 形 固 定 資 産	29億円	27億円	1億円
	無 形 固 定 資 産	34億円	22億円	12億円
	合 計	20兆7,275億円	20兆4,069億円	3,205億円
管 理 勘 定	貸 付 金	3兆4,346億円	4兆1,469億円	▲7,123億円
	そ の 他 資 産	19億円	24億円	▲4億円
	一 般 勘 定 貸	4,361億円	6,012億円	▲1,651億円
	合 計	3兆8,727億円	4兆7,506億円	▲8,778億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 令和5年度末現在の負債総額は23兆7,382億円で、前年度末に比べ、4,241億円の減少(▲1.8%)。債券が6,771億円減少したこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、500億円の国庫納付を行った一方で、借換益等570億円を繰り入れた結果、前年度末に比べ、70億円の増加

科 目	令和5年度末現在(A) (R6.3.31)	令和4年度末現在(B) (R5.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	18兆9,493億円	19兆6,264億円	▲6,771億円
借 入 金	5,303億円	5,265億円	38億円
金融商品等受入担保金	4,130億円	1,710億円	2,420億円
地方公共団体健全化基金	9,264億円	9,238億円	26億円
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公庫債権金利変動準備金	7,086億円	7,015億円	70億円
利差補てん積立金	34億円	59億円	▲25億円
そ の 他	69億円	69億円	▲0億円
合 計	23兆7,382億円	24兆1,623億円	▲4,241億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和5年度末現在の一般勘定における負債総額は20兆3,594億円で、前年度末に比べ、2,886億円の増加(+1.4%)
- ◇ 令和5年度末現在の管理勘定における負債総額は3兆8,149億円で、前年度末に比べ、8,778億円の減少(▲18.7%)

	科 目	令和5年度末現在(A) (R6.3.31)	令和4年度末現在(B) (R5.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	15兆8,490億円	15兆6,438億円	2,051億円
	借 入 金	5,303億円	5,265億円	38億円
	金融商品等受入担保金	4,130億円	1,710億円	2,420億円
	地方公共団体健全化基金	9,264億円	9,238億円	26億円
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	管理勘定の借	4,361億円	6,012億円	▲1,651億円
	その他	44億円	42億円	1億円
	合 計	20兆3,594億円	20兆707億円	2,886億円
管 理 勘 定	債 券	3兆1,003億円	3兆9,825億円	▲8,822億円
	公庫債権金利変動準備金	7,086億円	7,015億円	70億円
	利差補てん積立金	34億円	59億円	▲25億円
	その他負債	25億円	26億円	▲1億円
	合 計	3兆8,149億円	4兆6,928億円	▲8,778億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 令和5年度末現在の純資産総額は**4,258億円**で、前年度末に比べ、319億円の増加(+8.1%)
- ◇ 金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から43億円減少した一方で、一般勘定の当期純利益362億円を積立金として計上したことが要因

科 目	令和5年度末現在(A) (R6.3.31)	令和4年度末現在(B) (R5.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	3,704億円	3,341億円	362億円
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	—
繰延ヘッジ損益	▲189億円	▲145億円	▲43億円
			<small>うち金利スワップ期中解約分 ▲51億円</small> <small>うち繰延ヘッジの償却分 7億円</small>
合 計	4,258億円	3,939億円	319億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位: 億円)

令和5年度決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前 残 ①	期 末 高 ②	貸付額 ③	回収額 ④	期 末 残 高 ① + ② - ③
233,002	15,778	18,040		230,740

【債券】

前 残 ①	期 末 高 ②	発行額 ③	償還額等 ④	期 末 残 高 ① + ② - ③
196,264	16,578	23,349		189,493

【地方公共団体健全化基金】

前 残 ①	期 末 高 ②	納付金 ③	基金組入額(+) 基金取崩額(▲) ④	期 末 残 高 ① + ② + ③
9,238	195		▲169 (注)	9,264

利下げ 所要額 ①	基金 運用益 ②	②-①
233	63	▲169

(注) 利下げ所要額に基金運用益を充当した残余である。

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前 残 ①	期 末 高 ②	取 崩 額 ③	繰 入 額 ④	期 末 残 高 ① + ② + ③
金利変動準備金	22,000		—	— (注)	22,000
公庫債権金利変動準備金	7,015		▲500	570	7,086

【利差補てん積立金】

前 残 ①	期 末 高 ②	取 崩 額 ③	期 末 残 高 ① - ②
	59	25	34

(注) 関係法令の規定に基づき算出した金利変動準備金の積立限度額(当該期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の100)を前期末残高が超えているため、繰入れを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。